

現代ビジネス学部 国際社会学科 カリキュラムマップ

必修科目

赤字は実習科目

学部 人材養成	現代ビジネス学部は、21世紀の社会を展望し、グローバル化の進む世界や地域のビジネス組織、すなわち企業、自治体、民間団体などで活躍できる豊かな教養と知識を有する人材を養成する。
学科 人材養成	現代ビジネス学部国際社会学科は、国際社会科学を基にして異文化を理解し国際情勢を読み解くための基礎的な知識を身につけ、現代社会のグローバルな変化に対応できる国際対話能力を養い、国際社会だけでなく地域社会でも活躍する人材を養成する。
学位授与 方針	【知識・理解】 ①人文社会自然科学を基礎とした幅広い教養を身につけている。 ②国際社会科学や異文化理解の知識及びその活用方法を身につけている。 【思考・判断】 ③ローカルな視点とグローバルな視点を併せ持ち、現代の経済、社会、文化について論理的に考えて分析し考察することができる。 ④現代社会の多様なフィールドにおける諸課題の解決に向けて、的確な学際的考察及び総合的判断ができる。 【関心・意欲・態度】 ⑤現代社会の諸課題に対して自ら積極的に関心をもち続け、現代社会に貢献することができる。 ⑥自ら課題を探索し、他者と協力しながら自律的、主体的に課題を解決するための意欲と職業的自律を図るための態度を身につけている。 【技能・表現】 ⑦外国語で書かれた資料や書類を理解し、必要な情報を的確に読み取り討論や意見交換を行うことができる。 ⑧国際コミュニケーションの手段として必要な、英語や韓国語を中心とした国際対話能力を身につけている。

大学共通				現代ビジネス学部共通							
学位授与の方針 (再表現)	人文社会自然科学を基礎とした幅広い教養を身につけている。			専門性を活用して社会に存在する課題を自ら見つけ出し、仲間とともに、課題解決していくための力を身につける。		国際社会科学や異文化理解の専門的な視点から現代社会の多様なフィールドにおける課題をより深く理解し、現代社会に存在する課題を解決していくための専門的な力を身につける		社会の仕組みの理解を深めたり、社会への参加の意識と可能性を広げるために活用できる知識と技能を学部・学科の専門領域を超えて広く修得する			
	母語以外の言語で多様な人との基礎的なコミュニケーションをとるための基本的な語学力を身につける。	社会の基本構造や多様な人々の考え方を知り、自身が社会にどのようにかかわっていくか考えるための基本的な知識を修得する。	社会人として中長期的な人生設計に基づき活躍していくための基本的な知識・技能を修得する。	社会をより深く理解することで湧いてきた課題意識を基に、答えのない課題に主体的に取り組む力を身につける。	専門性を活用して社会を読み解き、仲間と意見交換を重ねながら社会と自己の関係を整理し、自らのやるべきことを特定する力を身につける。	地域の状況を、歴史、地域特性、政策、地域企業の状況などから把握し、グローバル化の進展する世界において、地域社会でどのように生きていくか考えるための基礎的な知識を修得する。	国際社会科学・異文化理解に関する専門的な視点から現代社会の多様なフィールドにおける課題をより深く理解し、解決していくための基盤的な知識を修得する。	「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能をバランスよく高め、海外実習等の実践を通して「使える」英語力を習得する。その上で、文学、英語学、英語教育等の専門分野の力をつけると同時に、国際社会事情および異文化理解についての基礎的な知識・技能を身につける。	韓国・朝鮮半島への知識を高め、実践的な学びを通して韓国語を修得し、留学や海外実習などで国際感覚を身につける。	国際政治、国際経済など、国際情勢を読み解くために必要となる専門的な知識を身につける。また、異文化に対する理解を深め、国際貢献に必要知識・スキルを身につけることで、現代社会で活躍できる力を修得する。	組織を円滑に運営するために必要なコミュニケーション能力や他者に対する理解と配慮の能力と、実践的なマナーを身につける。
科目区分	外国語	教養教育	基礎科目・キャリア・実技	実習	演習科目	基礎科目	基幹科目	英語コース	ハングルコース	国際コース	関連科目
4年					卒業研究						
3年			キャリアプラン実践		専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ		国際政治学1 国際政治学2 異文化コミュニケーション論 国際社会と福祉 国際法 グローバル経済論 グローバル化時代と国際関係	英米文学講読1 英米文学講読2 英語研究1 英語研究2 Advanced Reading Advanced Writing Speech & Discussion	実用韓国語 日韓交流実践	カルチュラルスタディーズ(宗教) 国際協力実践論 NGO実践論 多文化共生実践論	ホスピタリティ・マネジメント
2年	※日本語3	外国文学 倫理学 教育学 日本国憲法 人権論 地域学	キャリアプラン	インターンシップ事前事後指導 インターンシップ	専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ	北九州学 ビジネスと法律	国際社会学 国際経済学 比較文化論 日本文化論 比較宗教論 アメリカ文学 イギリス文学 欧米社会論	Advanced TOEIC 1 Advanced TOEIC 2 Communicative English 1 Communicative English 2 Reading Writing 英語学概論 英文法論 英語音声学1 英語音声学2	韓国事情1 韓国事情2 韓国語会話Ⅰ 韓国語会話Ⅱ 検定韓国語	国際協力論 カルチュラルスタディーズ(思想) カルチュラルスタディーズ(社会) 開発経済論 NGO論 多文化共生論	ファシリテーション実践 対人コミュニケーション論
1年	英語1A 英語1B 英語2A 英語2B 英語リスニング・スピーキング1 英語リスニング・スピーキング2 英語リーディング・ライティング1 英語リーディング・ライティング2 ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ インドネシア語Ⅰ インドネシア語Ⅱ ※日本語1 ※日本語2	哲学 日本史 外国史 日本文学 心理学 法学 経済学 社会学 自然科学概論 健康科学 数学と社会 環境科学 データサイエンス 地域連携(多世代交流) ※日本文化 ※日本経済	キャリアデザイン スポーツ実技 情報処理演習 アカデミックスキル(思考) アカデミックスキル(表現) アカデミックスキル(情報リテラシーと調査)	プラン&プラクティス 海外語学実習 海外社会実習 地域連携(地域貢献) 地域連携(社会貢献) 地域連携(まちづくり)	入門セミナー1 入門セミナー2	グローバル・スタディーズ入門 経済学入門 マネジメント入門	Topic Based English 1 Topic Based English 2 国際社会入門1 国際社会入門2 TOEIC 1 TOEIC 2 外書講読				ビジネスとコミュニケーション
教育課程編成方針	(1)共通教育科目では、教養教育を担うため全学部共通で設定しており、大学での学修の基礎となる知識やスキル、そして豊かな人間性と高い教養を身につけるべく基幹教育科目群(基礎科目、外国語科目)、教養教育科目群に区分する。 ①学修の基礎となる知識やスキルの修得のため「入門セミナー1」、「入門セミナー2」を必修として、また「アカデミックスキル(思考)」、「アカデミックスキル(表現)」を配置する。【知識・理解、思考・判断、関心・意欲・態度、技能・表現】 ②外国語運用能力の修得、特に英語の運用能力の修得のため、「英語1A」、「英語1B」、「英語2A」、「英語2B」を必修として配置する。その他にも英語・ドイツ語・韓国語・中国語・インドネシア語の科目を配置する。【知識・理解、思考・判断、関心・意欲・態度、技能・表現】 ③豊かな人間性と高い教養を身につけるべく教養教育科目群において、人文・社会・自然の各領域の科目を配置する。また、地域に根差した人材育成のため「地域連携」に関わる科目を配置する。【知識・理解、思考・判断、関心・意欲・態度、技能・表現】 ④キャリア意識をそだてるために、「キャリアデザイン」を必修として、「インターンシップ」、「インターンシップ事前事後指導」等の科目を配置する。【知識・理解、思考・判断、関心・意欲・態度、技能・表現】 ⑤高度情報化社会の中で活躍できる人材として必要な情報リテラシーや基本的な能力の修得のため、「情報処理演習」、「アカデミックスキル(情報リテラシーと調査)」、「データサイエンス」、「数学と社会」の各科目を配置する。【知識・理解、思考・判断、関心・意欲・態度、技能・表現】 (2)専門教育科目では、基礎科目群、基幹科目群、コース科目群、関連科目群、演習群の5つに科目群区分する。 ①基礎科目群は、グローバル社会における諸問題について、人文・社会科学のさまざまな視点から考える「グローバル・スタディーズ入門」を必修として配置する。また、PBL型の教育により地域の諸課題の解決方を学生に考えさせることで課題発見力、プレゼンテーション能力、課題へのアプローチ方法、実践力等を身につけるべく、「プラン＆プラクティクス」を配置する。【知識・理解、思考・判断、関心・意欲・態度、技能・表現】 ②基幹科目群は、英語運用能力の向上と英語情報を用いて学ぶ思考力と技術を養うために「Topic Based English 1」を必修科目として配置する。また、「国際社会入門1・2」を学科の必修科目として配置する。さらに国際社会を理解するために「国際経済学」、「グローバル時代と国際関係」、「異文化コミュニケーション論」等を配置し、国際社会科学の各学問領域における専門的基礎知識を体系的に修得する。【知識・理解、思考・判断】 ③コース科目群は、国際社会の具体的な問題解決を行い、各学問領域における専門知識を現場で応用できるよう、各コースで必要とされる専門科目を必修化し、それに関連する科目を学問系列ごとに分けて3つのコース科目として配置する。学生は3つのコース「英語コース」、「ハングルコース」、「国際コース」のいずれかに所属する。なお、所属のコース科目で生まれた新たな関心・意欲に応え、幅広い学問領域における専門知識を体系的に修得するため、他のコース科目の履修を推奨する。【知識・理解、思考・判断、関心・意欲・態度】 ④関連科目群は、コミュニケーションスキルを養うための科目等を配置する。【知識・理解、技能・表現】 ⑤演習群は、それまで修得できた知識やスキルを統合するとともにコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、課題発見力、課題解決力等を養成するため、必修科目として「専門演習Ⅰ～Ⅳ」を配置し、学修の集大成として「卒業研究」を配置する。【知識・理解、思考・判断、関心・意欲・態度、技能・表現】										
入学者受入れ方針	【知識・技能】 ①高等学校の教育課程を幅広く修得している。 ②高等学校までの「国語総合(現代文)」や「英語」の履修を通じて、基礎的なコミュニケーション能力を身につけている。 【思考・判断・表現】 ③現代社会の問題について、知識や情報をもとに筋道立てて考え、その内容をわかりやすく表現できる。 【主体性・協働して学ぶ態度】 ④クラブ活動、委員会活動や社会奉仕等を通じて、多様な人々と協働して主体的に学ぶ姿勢を身につけている。 ⑤国際社会科学や異文化理解の知識及び学内外での様々な体験を社会で活かしたいという目的意識と意欲がある。										